

日本共産党 天王台後援会ニュース



〈天王台、東我孫子、高野山、泉、下ヶ戸、岡発戸、柴崎台、柴崎、青山台、青山、南青山地域〉〈部内資料〉

住所 270-1138 我孫子市下ヶ戸1825-19-103 電話 7184-2670, 発行責任者 中村良雄

参議院選挙へGO!

7月3日公示、7月20日投開票

(期日前投票は7月4日から19日まで)

日本共産党の躍進で命・暮らしを守る、平和な日本へ
比例は 日本共産党とお書き下さい。

千葉選挙区は 白石 ちよさん

★物価高から 暮らしをまもる

- 1) 消費税**5%**で年**12万円**の減税
- 2) 物価を上回る**大幅賃上げ**
- 3) 医療・介護の**危機打開**



★財源はどこから？

大企業減税、富裕層の減税ばかりが続く おかしいですね!

消費税5%の減税の財源は15兆円。大企業と富裕層への優遇税制を元に戻せば十分に確保できます。それなのに共産党以外の政党は、将来の国民負担の国債や貴重な社会福祉の削減で賄うとして、決して大企業の優遇税制の問題に言及しません。

自公を始め国民民主・日本維新の会などは企業献金で政治的活動を行っています。大企業から献金を受け取っているので大企業の応分負担が言えないのです。

共産党は大企業から企業献金を受け取らない唯一の政党です。

戦争が目前に! トランプ要求の5%なら軍事費19兆円へ膨張

イスラエルのイラン・ガザでの虐殺、アメリカのイランへの空爆・殺人・破壊を日本政府は黙認しています。日本が参戦するかもしれません。自公・維新・国民民主は大軍

拡路線に賛成。これで暮らしが守れますか? 平和が守れますか? 今度の参院選挙でNO! の意思を突きつけましょう。

(天王台後援会会長 中村良雄)

2025年我孫子市6月議会終わる(6月2日～19日)

日本共産党市議団は、6月議会で、下記のような質問を行いました。



岩井 こう議員

- ◎我孫子市内の県が管理する水道管の「緊急度1」の場所の安全について
- ◎子どもが通いたくなるような学校について(全国で34万人もいる不登校問題)我孫子の状況について



船橋まさる議員

- ◎水道事業の人工衛星による漏水調査について
- ◎小中学校施設の老朽化による安全対策や衛生面の管理について
- ◎都市行政では、手賀沼遊歩道の樹木の立ち枯れ対策について

市議会傍聴記 「子どもが通いたくなるような学校に」

6月議会で「不登校問題」について岩井議員が取り上げる

岩井議員は日本共産党の提言を示しながら、市長、教育長に質問しました。小・中学校の不登校が34万人にも急増。私が養護教諭として現職だった30年前、不登校が約10万人と言われて、学校が子どもたちにとって、楽しい学びの場ではなくなりつつあると感じていました。そして、国連からは、何回も「過度な競争と管理の学校制度、過密な学級定員について」指摘され、改善を求められてきたのに、聞く耳を持たなかった日本政府、文科省です。

今回の日本共産党の提言は、「不登校は、子どものせいではない。子どもは、学校や社会の中で、違和感を抱え、傷つき、我慢に我慢を重ねた末に、登校できなくなる」「子どもは安心して休む権利がある」としています。

教える内容が多すぎる学習指導要領。毎日6時間授業。学校は今、子どもも教師も全くゆ

とりがなく、子どもが自由に意見を言える場ではなくなっています。「各学校で創意工夫をしている」「学校生活にルールが必要だ」との教育長の答弁は、子どもが自由に意見を言える場にすべきとする岩井議員と噛み合いませんでした。そして、管理と競争、過密な日本の教育体制についての問題意識は感じられませんでした。岩井議員は、教育現場の多忙化のもとで、心を病む先生が増えている実態を示し、先生を増やして、学校がゆとりを持って、子どもを育む場所になるように、教員の働き方の改善を求めました。子どもや先生をこれ以上苦しめないようにと呼びかける日本共産党の提言を、政治がしっかり受け止めてほしいと強く感じました。

(青山 田中なつみ)



アメリカのイラン攻撃の正当化、 広島、長崎の被爆者の怒り

—トランプ大統領の発言は許せません。—



トランプ大統領が「イランへの核施設攻撃は、日本の広島・長崎への原爆投下と同じだ、戦争終結になった」と発言しました。原爆投下は、戦争終結を目指したのではなく、あくまで原爆の威力の実証だったことは明らかです。

日本各地への B29爆撃機の爆撃は日本のほとんどを焼き尽くし、食料も不足し、すでに沖縄は占領されていたのですから、原爆投下前に日本の敗北は決定的になっていたのです。

イスラエルのイラン攻撃も、ガザの殺戮を世界の目から隠す煙幕のようにも思えます。

日本国憲法には、前文に『われらは、いづれの国家も、自国のことのみに専念して他国を無視してはならないのであって、政治道徳の法則は、普遍的なものであり・・・』と書かれています。今のアメリカやイスラエル、ロシアの軍事行為は人間として許されることではないと思います。被爆国として政府ははっきり反対を発言すべきです。 〈天王台 中川美保子〉

短歌 工藤 葉子

農政の失策知るや知らずして

苗たくましく伸びて頼もし

赤黒き月を眺めて胸騒ぐ

また一つ上がった戦の狼煙

消えてゆく花火のごときミサイル弾

破壊と死のみを確かに残す

戦いで子を失いし母嘆く「ロンドン

デリーの歌」現在もどこかで

理不尽と不条理多き世なればこそ

手を携えて生きてゆきたし

請願全会一致で採択

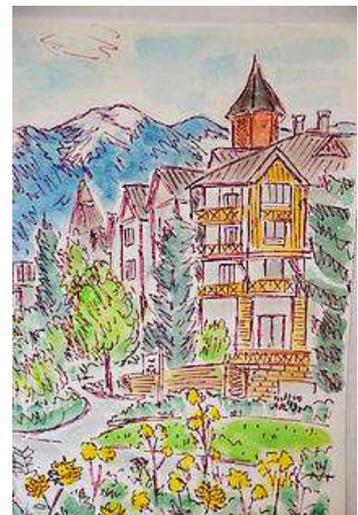
我孫子市6月議会では、「日本政府に核兵器禁止条約に署名・批准を求める意見書の提出を求める請願」が全会一致で採択されました。

毎年、広島・長崎に中学生の代表を送って「平和都市宣言」をしている我孫子市にふさわしいことでした。

毎年行っている平和行進が7月19日に行われます。被爆80年の今年も暑さに負けず、お集まりください。

平和行進我孫子実行委員会

天王台 J. N



第17回あびこ平和フェスティバル開催

講演・映画上映・うたごえ・DVD 上映・文化コーナー・各種展示

日時 **8月23日(土) 9:00~19:00**

場所 **我孫子市民プラザ・ホール** (入場は無料)

(あびこショッピングプラザ3階)

主な日程 午前9時 会場開会 平和関連資料展示 9時から19時まで

10時30分 原水爆禁止世界大会参加者の報告

11時 講演「ノーベル平和賞、そして核兵器廃絶へ」

講師 **土田弥生さん**

(日本原水協事務局次長)



13時 **みんなでうたごえ**

13時30分 講演「戦後80年、いま新たな戦前に!？」

講師 **千坂 純さん**

(日本平和委員会事務局長)



15時30分 **映画上映**

19時 閉場

主催 あびこ平和フェスティバル実行委員会 代表 中村良雄 090-3964-3111

後援 我孫子市 我孫子市教育委員会

【都議会議員選挙の

結果を見て

】

杜^{もり}の木を切る知事選ぶ 東京都
住めなくなるは都民ファースト

批判票やはり集中 自民党

でも裏金はやめられません

財界の許す範囲の財源で

耳障りよい策羅列の浮気党

繰り返し政策届けと叫ぶ党あり

実績いつかは議席に届かむ

【青山台 百姓一揆農民】